

RFID資産管理ソリューションパッケージ ASETRA®導入事例

RFIDでヒューマンエラーと属人化を解消 棚卸しは57時間から2時間へ95%の工数を削減

サントリープロダクツ株式会社 様



導入経緯 サントリーブランドの清涼飲料水などを製造されているサントリープロダクツ株式会社様。同社は最先端のデジタル技術を積極的に取り入れるスマートファクトリー化を推進しています。その一環として設備安全管理システムを導入したものの、一部アナログでの管理だったため、管理精度や棚卸時間に課題を抱えていました。そこで、精度と作業効率の改善をするため「ASETRA」の導入を決めました。

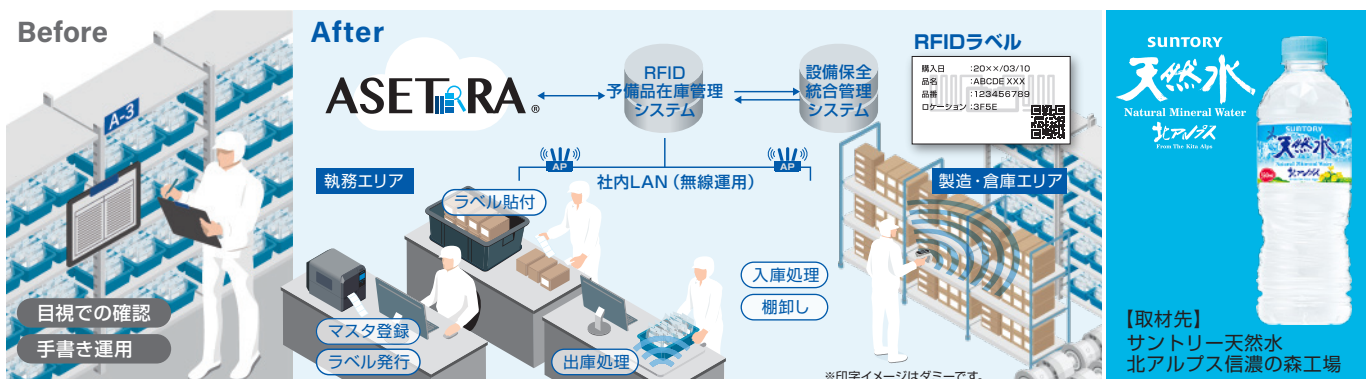
Before

- ・ 棚卸作業に20人体制で合計約57時間を要していた
- ・ 目視確認や手入力のアナログ管理でヒューマンエラーが頻発
- ・ エリア担当者のみが管理方法を把握をしていた

After

- ・ 棚卸作業が1人で約2時間に。95%の工数削減を実現
- ・ RFIDによる在庫管理で管理精度が向上
- ・ 誰でも扱いやすい機器で、属人化を解消

導入製品・システム



お客様の声

サントリーホールディングス株式会社 デジタル本部 情報システム部 課長代理 渋谷 毅 様 / デジタル本部 情報システム部 中川 愛子 様
サントリープロダクツ株式会社 天然水北アルプス信濃の森工場 工務部門 松坂 友太郎 様 / 天然水北アルプス信濃の森工場 福田 耕陽 様

背景・課題

手作業や目視確認が残り、予備品の管理に膨大な時間と工数がかかっていた



中川様 渋谷様

渋谷氏：サントリープロダクツ株式会社 天然水北アルプス信濃の森工場では、最先端のデジタル技術を積極的に活用したスマートファクトリー化を推進しています。その一環として、2021年に設備保全管理システム（CMMS）を導入し、本工場における約24,000点の予備品情報をシステム上で一元管理できる体制を構築しました。

本プロジェクトに情報システム開発担当として参画し、課題整理をしたところ、CMMS導入後も在庫管理は目視での確認や手作業によるデータ登録が行われていたため、ヒューマンエラーが頻発し、システム上の在庫と実際の在庫数に乖離がありました。他にも棚卸しには膨大な時間が必要で、20人で合計約57時間を要していました。業務の属人化も起こっており、エリア担当者しか管理方法を把握しておらず、担当者が休みの時でも、電話で確認をするケースもありました。

中川氏：一連の課題からRFID技術に着目し、約10社の候補の中から最終的にサトー社のRFID資産管理ソリューションパッケージ「ASETRA」の採用を決めました。決め手は既存CMMSとの連携の容易さです。RFIDリーダーでタグを読み込むだけで、入出庫記録や棚卸記録などがCMMSにも登録されます。

「ASETRA」のテスト導入では期待通りの結果が出たのと、サトー社の担当者からは導入後の運用方法や、部品形状や収納方式ごとのラベルの貼り方や置き方など、細かくレクチャーをいただき安心感もありました。



福田様 松坂様

効果・評価

棚卸工数は95%減。作業時間は約57時間から約2時間に

福田氏：導入後すぐに効果がでました。先行導入した天然水 北アルプス信濃の森工場では、20人体制で合計約57時間かかっていた棚卸しが1人で約2時間に、95%以上の工数削減です。

また、ヒューマンエラーが解消しただけでなく、システム上の在庫と実際の在庫数の乖離もごくわずかになりました。RFIDリーダーでの読み取り作業もシンプルで、1、2回の指導で誰でも習得可能です。結果、エリア担当者に依存していた属人化も解消しました。他にも、RFIDの読み取り精度をあげるため配置や置き方を整理をしたところ、現場担当者以外でも予備品の保管場所の把握が容易になりました。



松坂氏：リアルタイムで在庫状況の把握ができるようになったことも大きな効果です。工場間で予備品の貸し借りをすることがあるのですが、正確な在庫数に基づいて対応ができます。他にも、管理精度が上がったことで在庫の適正数の把握もしやすくなりました。以前は予備品の在庫を持ちすぎってしまう傾向にありましたが、現在は在庫数と照らし合わせて予備品の購入をすることができます。



渋谷氏：今回の「ASETRA」導入を足がかりに他工場への展開も検討しています。将来的にはパレットやビール樽のトレーサビリティなど、予備品以外の管理もできるといいですね。発注システムと在庫管理が連携できればより精度が高くなるので、今後もサトー社に期待をしています。

本ソリューションによる
1年間のCO₂削減効果

削減するCO₂の量
CO₂約 71.2t/年 = CO₂を吸収するスギの本数
約 8,092本分

●スギ1本あたり1年間に約8.8kgのCO₂を吸収（出典：林野庁）
●CO₂排出削減貢献度につきましては、経営働時数の変化と産業ごとの係数を基に算出した推計値です。実際のCO₂削減量を保証するものではありません。ソリューションの製造時や機器使用時の消費エネルギー等は算定対象外です。●株式会社サトーで算出した参考測定値です。

株式会社サトー www.sato.co.jp

お問い合わせ先 ☎ 0120-226310 受付時間：24時間365日

全国の営業拠点一覧はこちらへアクセスしてください

■記載内容は2025年11月現在のものです。
■製品改良のため断りなく仕様を変更することがありますのでご了承ください。
■いかなる形式でも本誌の一部または全部の複製および無断転載をお断り致します。
■記載されている会社名、ソフトウエア名、製品名などは各社の商標、または登録商標です。

